

## 専大生と地域住民との第2回交流会

### 地域諸課題解決に向け、活発な議論

商学研究所(上田和勇所長)では「多摩区・3大学連携事業」の一環として、川崎市多摩区役所から事業委託を受け「登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地域に関する住民ニーズ調査」を実施している。調査の経過報告と意見交換を中心に行われた昨年12月の第1回交流会に続き、本学学生と地域住民との2回目の交流会が、約40人の参加を得て1月31日に多摩区役所で開催された。

調査を担当した商学部の渡辺達朗教授、神原理・助教授の両ゼミ生約30人が、学生、事業者、地域住民にインタビューとアンケートを実施し、その調査結果を基に報告。自然や閑静な環境を重視し、インフラ整備や商店街に活気を求める意見や要望が目立った。

交流会では、住民から学生の地域活動への意識の確認や、大学と地域を結ぶ情報伝達手段の構築を求めるなど、登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地の活性化に向けた提案が出され、学生との意見交換も活発に行われた。

神原助教授は、地域活動に参加したい人と携わっている人を結びつける情報伝達方法を考えることが、活性化への到達点の一つではないか、と総括した。この交流会を踏まえた調査結果は、3月末までにまとめられ、多摩区役所に提出されることになっている。



渡辺達朗教授



上田和勇所長



▲活発な意見交換が行われた第2回交流会



▲発表する専大生(左が神原・助教授)



▲昨年12月の第1回交流会で

## 「川崎インターンシップ」に参加

### 川崎商工会議所と協定

川崎市内に立地する六つの大学(本学、田園調布学園、和光、洗足学園音楽、日本女子、明治)と川崎商工会議所が「川崎インターンシップ」を実施することとなり、12月1日、同会議所で協定の締結式が行われた。

職業選択の一助となる専門知識の習得により、勉学意欲を向上させ、地域経済活性化のための人材を育成することを目的としたもので原則として、夏期休暇期間に2週間程度の実習を行う。

4月に同会議所で受け入れ企業を決定し、5月から参加希望学生を募集する予定。本学の窓口は、キャリアデザインセンターとなる。

## 創立130年記念事業「メモリアルポール」設置

### 「正義の女神像」神田キャンパス8号館法科大学院前に

創立130年記念事業の一環として、神田キャンパス8号館法科大学院前にメモリアルポールが設置され、2月5日、日高義博学校法人専修大学理事長・専修大学長と、平井宜雄法科大学院長による除幕が行われた＝写真下。

メモリアルポールは、高さ264.8センチ、幅・奥行ともに50センチで、上部には正義、衡平、公正等の法の理念を表象する「正義の女神像“Themis ~ Goddess of Justice”」のブロンズ像が設置されている。法律学と経済学を初めて日本語で教授するという熱い思いで創立され、「五大法律学校」の一つと称された本学の歴史と、本学法科大学院の存在を広く知らしめるものとして期待される。



## 「クリーンエイドネットワーク多摩川」(「磨けば光る多摩事業」)

### 準硬式野球部、陸上競技部、漕艇部が協力

#### 多摩川をキレイにしよう

地域貢献を推進する本学の、準硬式野球部員、陸上競技部員、漕艇部員ら約50人が、「磨けば光る多摩事業」の一環として2月4日に行われた「クリーンエイドネットワーク多摩川」(主催＝多摩区、NPO法人多摩川エコミュージアム)に参加。三つの部は、練習場所として多摩川や河川敷を使用しており、日ごろの恩返しの意味をこめ、約2時間をかけて「二ヶ領せせらぎ館前」から下流約1.5キロの河川敷の清掃作業を行った＝写真。



集まったゴミは40リットル入りゴミ袋400個分にのぼり、自転車、古タイヤ、ポリタンクといった不燃物もあった。ゴミの分別では日ごろのチームワークを生かし、準硬式野球部主将の根本雅彦さん(経済3)を中心に大活躍。参加者からは「学生が大勢来てくれて助かった」という声が、学生からは「思ったよりゴミが多く驚いた」「機会があったらまた協力したい」といった感想があった。

本学のほか明治大、日本女子大、法政大、東京大、地元町内会、老人クラブなどから計400人が参加、世代を超えたコミュニケーションをとる良い機会にもなった。

## マーチングバンド・バトントワーリング全国大会

### 専大玉名高校が日本一に

専修大学玉名高校(久和基利校長・熊本県)の吹奏楽部は12月17日、さいたまスーパーアリーナで開催された第34回マーチングバンド・バトントワーリング全国大会に出場、金賞・編成別最優秀賞を獲得し、見事日本一の座を手に入れた。

同高は高校の部小編成(54人以下)で

「JOURNEY～旅立ち～」にあわせて完成度の高い華麗な演奏・演技を披露。金賞・編成別最優秀賞受賞は第32回大会に続き2回目の快挙。メンバーは大会前に生田、神田両キャンパスの体育館で練習に励んだ。



## 全日本マーチングコンテスト

### 専大北上高校は銀賞受賞

専修大学北上高校(黒沢勝郎校長・岩手県)吹奏楽部は11月19日、千葉市の幕張メッセで開催された第19回全日本マーチングコンテストで銀賞に輝いた。

高校以上のフェスティバルに出場した同高は、100人を超える大人数でフロアを埋め、ショスタコービチの曲をメドレーで披露。華やかな演技を展開した。

及川彩子部長(3年)は「最後は気持ちが一つになった。目標の金には届かなかったが、すべてを出し切ることが出来た」と喜びを表した。

